

被災宅地危険度判定の流れ

被災宅地危険度判定の調査は、次のとおり行います。宅地の状況によっては、複数の宅地を同時に判定する場合があります。

① 被害状況確認（擁壁）



全体の被害状況を把握しながら、宅地の平面図、被害箇所の断面図を調査票に記載していきます。

② 被害状況確認（宅盤）



宅地に亀裂がないかなどの調査を行い、宅地全体の被害状況を把握していきます。

③ 被害状況の詳細調査



各被害状況（亀裂の幅、傾き状況など）を調査し、被害程度に応じて採点を行い、各宅地の被害程度を評価していきます。

④ 調査結果の掲示



宅地所有者、近隣の住民などにより、宅地の状況を周知するため、被害点数に応じたステッカーを目立つ場所に貼ります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

問 合 せ 先

被災宅地危険度判定連絡協議会

被災宅地危険度判定制度の手引き

～地震や大雨による二次災害を軽減・防止するために～



被災宅地危険度判定とは…

地震や大雨等によって宅地が大規模かつ広範囲に被災した場合に、宅地被害状況を迅速かつ確に把握するとともに、住民へ情報を提供し、二次災害の軽減・防止を図ろうとするものです。また、復旧対策に必要な被災情報の収集とその活用等も兼ねています。

被災市町村や都道府県では、災害が発生した場合、速やかに被災宅地危険度判定士を現地に派遣し危険度判定を行います。迅速な判定や安全の確保には住民の皆様のご協力が必要不可欠です。

被災宅地危険度判定連絡協議会

<http://www.hisaitakuti.jp/>

被災宅地危険度判定連絡協議会とは…

被災宅地危険度判定活動をより円滑かつ適切に実施するため、都道府県及び政令市等を会員として構成された組織です。平成7年1月の阪神・淡路大震災を教訓に平成9年5月に創設されたもので、事務局は（社）全国宅地擁壁技術協会にあります。

また、広域的な災害により迅速かつ適切に対処するため、各地方公共団体ごとに相互支援等を含めた協議会体制の整備などを推進しています。

被災宅地危険度判定士とは…

被災宅地危険度判定士は、被災地において、当該市町村長又は都道府県の要請により被災宅地危険度判定を行う技術者です。主に土木・建築等の技術者で、一定の専門技術資格・経験を有し、都道府県が実施する「被災宅地危険度判定士養成講習会」の受講した後に登録が必要です。（5年ごとに登録更新）

判定活動をする場合、登録証を携帯し、「被災宅地危険度判定士」と明示した腕章やヘルメットを着用しています。

被災宅地危険度判定士による危険度判定調査の概要

- ① 地震等発生後速やかに、被災した宅地において目視、簡便な計測を実施します。
- ② 切土・盛土により造成された宅地地盤、人工斜面、擁壁、排水施設のほか、周囲の自然斜面（例、裏山、がけ）などを対象に被災状況を調査します。
- ③ 危険度判定は、あらかじめ定めている「危険度判定基準」に基づき、変状項目（クラック、水平移動、傾斜、崩壊など）ごとに、被害程度に応じた点数をつけ、最大値により、危険度大、中、小の評価区分に分類します。
 - 大（危険）**：変状等が特に顕著で危険なため、立入禁止措置が必要です。
 - 中（要注意）**：変状等が著しく、当該宅地に立ち入る場合は、時間や人数を制限するなど十分な注意が必要です。あわせて、変状が進行することになれば、避難も必要となります。
 - 小（調査済）**：変状等が見られるが、当面は防災上の問題はないと考えられます。

擁壁にひび割れやたわみが発生していませんか？

擁壁クラック（≒ひび割れ）の原因は、擁壁に無理な力が影響したためにひずみが生じて出来たもの（コンクリートの劣化や設計想定外の圧力等が原因）が考えられ、特に大きなクラックが発生している場合は出来る限り早く修復する必要があります。

練積造擁壁は、コンクリートを接着剤として石やブロックを現場で一つずつ積み上げているため目地が出来ます。この目地部分は、ほかの部分より強度が弱いため、大きな力が加わった場合に目地が壊れ、石やブロックにずれが生じます。

擁壁の裏側で発生する土圧（土の圧力）や水圧が部分的に増すことで練積造擁壁が前方に押し出されることを「ハラミ出す」といいます。この状態の擁壁は不安定な状態といえます。



排水施設は大丈夫ですか？



擁壁には、水抜き穴（一般には直径75mmのパイプ）が、擁壁の前面に設置されています。これが不足していると擁壁の背後で水が溜まり水圧がかかり、擁壁が危険な状態になるからです。水抜き穴の点検方法は、水抜き穴のをぞき「ゴミが詰まって水の流れを阻害していないか」、「土が流れ出ていないか。」等をチェックします。土が流れ出ている場合や、泥水が流れ出てきている場合には、擁壁の裏側の土が不安定になっている場合があります、危険な状態である可能性があります。